

<葉山自治会便り> No, 222

発行者:葉山自治会

編集:総務部長 大谷裕章

総務副部長 峠 俊雄

【防犯防災関連】

防犯防災部長:小林保彦

1. 11月10日(日)午前9時より午前10時30分まで、葉山パークセンターにおいて小名浜消防署の指導で『自主防災訓練について』の講習会が行われました。

自治会からは20名の参加がありました。小名浜消防署より4名の方々により訓練をおこないました。

小名浜消防署の有賀主査より防災の講義があり、昨年いわき市では67件発生し、小名浜消防署管内では13件の火災発生がありました。今年は11月1日現在いわき市内で65件、小名浜消防署管内では14件発生しております。発生原因は、タバコ火災、ガス・電気火災が多く、建物火災は33件、枯草火災は18件あり、死者数はいわき市で6名(65才以上が5人)となっており、原因は放火火災、タバコ火災、ストーブ火災が多く発生している。発生時間帯は午前10時～午前12時に多く、また、深夜帯でも発生しています。

いわき市の救急出動回数は15,094件/年、小名浜消防署では4,024件/年となっています。救急車の到着時間は平均11分となっていて、より早く到着するために通報で大事なことは、落ち着いて正しく情報を伝える事が重要となります。(電話119・場所・内容)

ハザードマップの活用で、葉山地区は介護施設の寿限無が避難場所になっていますが、葉山では自宅の方が安心です。葉山内で避難が必要の時は葉山パークセンターを活用します。

体験訓練では、まず、濃煙体験(スモーク体験)を各人が煙の充満する部屋内で訓練をしました。次に、心肺蘇生訓練では、胸骨を圧迫する心肺蘇生とAEDの取扱いを訓練しました。また、緊急対応として腕の骨折時の処置方法は雑誌と手ぬぐいで仮固定し、買い物袋(レジ袋)を2つに裂いて首に掛けて腕を吊って応急処置する事を実演しました。次に、水消火器を使って屋外で声を出して的に当てて消火する訓練をしました。

参加者は、体験して見ることと行うことの違いを実感しました。いつ起きるかわからない災害を少しでも未然に防ぐことが大切であることを、この訓練を通して学びました。





【総務部関連】

総務部長:大谷裕章

1. 第18回葉山餅つき大会を、令和7年1月19日(日)午前11時より葉山パークセンターにて開催いたします。昨年同様にお雑煮、あんこ餅、きなこ餅、甘酒等を用意しますので、多くの方々の参加をお待ちしております。  
また、子供たちの餅つき大会も行いますので、子供たちも沢山参加して下さい。  
隣組長並びに子供会役員の皆様、お手数ですがご協力をお願いいたします。

【里山の会関連】

里山部長:大内信行

1. 第146回葉山里山の会は、11月17日(日)に『親子で森に親しむ会！』開催しました。  
当日は、曇りから小雨そして晴れとめまぐるしく変わる天気の中、子供会親子並びに関係者合計30名の参加がありました。  
講師として「いわき金成公園岩出の郷里山クラブ」の佐藤さん、円谷さんのお二人と、Romanの森を散策しながら、蜘蛛と蜘蛛の巣のことや木の葉を使っての遊びや木の育ちを教えてくださいました。  
お昼はRomanの森で、焼き肉や焼きそばのバーベキューと、自分たちで作ったピザをピザ窯で焼いて美味しくそして楽しい時間を過ごしました。  
子供会のお父さんお母さんに、準備や片付けのご協力をいただきありがとうございました。  
日頃から親子で、Romanの森を散策して親しんでいただけると幸いです。  
次回葉山里山の会は、12月15日(日)8時30分から予定しています。  
参加される方は、葉山パークセンターに集合して下さい。





『親子で森に楽しむ会！』参加者

以 上